

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス ぐろーす

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和7年

2月

10日

法人（事業所）理念	「未来を考える心」「成長を喜ぶ心」「思いを預かるという心」「安心できる場所を創る心」を心掛け、ご家族の皆様と共に魅力ある事業所を目指します。		
支援方針	一人ひとりの発達に応じたプログラムを組み、苦手なことにもスタッフと繰り返し取り組み、就学に向けてサポートしていきます。		
営業時間	9時0分から19時0分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活スキルの習得（手先や力の使い方を学び食具を使用して食事ができる。身の周りの清潔に保つため手洗いが習慣化される。汚れを認識し綺麗にすることを学ぶ等） 場所を分かりやすく構造化し過ごしやすい環境を整える（物の場所を視覚的に分かりやすくし、片付けができる。動線を確保する。勉強する場所・遊び場所を分ける等） 生活リズムを身に付ける（スケジュールの提示、定期的なトイレ誘導・水分摂取等） 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 外遊びや身体を動かす遊びを通して体の使い方や遊具の使い方を把握する。 座席やテーブルの高さなどの調整を行い姿勢の保持、体幹をサポートする。 製作、工作の実施（鋏、糊、テープ等、日常的な道具の使い方を補助する。感触遊びの中で五感を刺激する） 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 個別課題によるマッチング、細通し、型はめなどを行い数量、大小、色、空間等の概念の形成をサポートする。 活動時の見本や工程の提示（話を聞く力、見る力、真似をする力を培い就学へ繋げることができるよう補助する。） 必要に応じたバージョンの利用と別室を用意し刺激の少ない静かな環境を整える。 	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 就学に向けたひらがなの練習、運筆練習、絵本の読み聞かせの実施 異年齢児童の交流、ルールのある集団遊びを通して他児とのコミュニケーションの機会を設ける。 「暗黙の了解」「目には見えないルール（順番など）」を知り、就学後の集団生活へ繋げることができる。 	
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> スタッフとの信頼関係を形成する。（受け止めてもらえる経験、褒められる経験、認めてもらえる経験が増え、安心して過ごせる） 児童の発達段階に応じた遊び（平行遊び、ごっこ遊び、模倣遊び、集団遊び）をサポートする。 集団生活でのルールを学ぶ（物の貸し借り、順番に使う、列に並ぶ等） 	
家族支援	連絡ツール（HUG）を用いた記録の記載、延長支援の活用 送迎時の情報共有、半年に1回のモニタリング（面談）	移行支援	幼稚園や保育園、学校や児童館、他のデイサービスとの情報共有 相談室との定期的な連絡、必要に応じた児童相談所や保健師との連絡・確認
地域支援・地域連携	「札幌市障がい児地域支援マネジメント事業」に参加 年2回、担当職員から支援技術や助言等の相談機会あり	職員の質の向上	定期的な会議、ミーティング、研修の実施
主な行事等	誕生日会、季節のイベント（夏祭り、クリスマス会等） 土曜日・長期休暇時～戶外活動（外食レクや工場見学、水族館や買い物レク等）		